

心揺り動かすひと時を・・・子供の心に直接響く・生きる道徳の学習

## 長野パラリンピック金メダリスト 美季・マセソンさんの 強さのヒミツに触れよう！心動かそう！



パラリンピック金メダリスト 美季・マセソンさんを高松小学校にお迎えして、優勝するまでのお話、これから  
の夢についてお話いただきます。

夢を持ち続けて生きる美季・マセソンさんの強さのヒミツ、輝く生命の美しさ、まことを追求していく姿に  
触れ、話を聴き、心に感じることをとおして、子供たちが「ひたむきにまっすぐ生きる」ということ、「夢を持ち  
続ける」ということについて考える感動のひと時としたいと考えます。心に直接響く・これからの時代を生き  
ていく子供たちにとってホンモノの「生きる道徳」の時間となることを願っています。

ぜひ皆様にも、ご参会いただき、子供たちとともに感動を共有することができれば幸いです。

### ◇ご講演

「パラリンピック金メダリスト 美季・マセソンさんの強さのヒミツに触れよう！心動かそう！」

講師 パラリンピック金メダリスト 美季・マセソンさん

日時 平成28年7月15日(金)

講演 11時00分～12時20分

交流(含、給食) 12時25分～14時30分

会場 高松小学校体育館

※お車でのご来校は、ご遠慮ください。

自転車や二輪の方は、玄関からお入りいただき、  
誘導に従い運動場のコンクリート部分におとめいた  
だけです。

お体の不自由な方は、係りの者をご案内いたします。



### ◇美季・マセソンさんについて

将来マラソン選手になることが夢だった美季・マセソンさんは学生時代、交通事故で  
脊髄を損傷し、もう歩くことはできないと宣告されました。車いすの生活になりました  
が、美季さんは夢をあきらめずトレーニングを続け、ついに車いすマラソンを  
やり遂げます。そして、それだけでなく1998年の長野パラリンピックではアイスス  
レッジスピードレースに出場し、金3個と銀1個のメダルを獲得、世界新記録を樹立し  
たのです。

現在、美季さんは日本財団パラリンピックサポートセンターの役職に就かれ活躍され  
ています。2015年の国際障害者デーの日、国連本部で関連イベントが開かれ、各国  
の国連大使らを前に、美季さんは障害の程度にかかわらず誰もが参加できる社会づく  
りを訴えました。そのなかで、「私たちは誰もが共生できるバリアフリーな世界へ大きく  
前進したが、私たちの取り組みは決して終わることはない。」と述べ、共生社会への成  
長に向けたさらなる努力を呼びかけました。また「故郷の東京で2020年東京パラ  
リンピックが開かれることに胸を躍らせている」と未来への希望も語られました。

(マセソン・美季さん 旧姓松江美季さん。  
1998年長野冬季パラリンピックのアイススレッジスピードレース3冠。  
東京学芸大卒業後、米・イリノイ大に留学し障害者スポーツの指導法などを学ぶ。  
2001年に結婚してカナダへ移住し、現在はオタワ在住。)